

プレスリリース

平成30年4月24日

報道関係者各位

全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会
全国水産練製品協会
代表理事会長 鈴木博晶

水産ねり製品メーカーが直面する生産コストの高騰について

われわれ全国の水産ねり製品（かまぼこ、ちくわ等）の製造業者は、下記のように、原材料、包装資材、物流費、人件費等の高騰に直面しています。われわれメーカーの厳しい事情を何卒ご理解ご賢察賜り、各位におかれましては、広く全国（小売業界や消費者等）にお伝えくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 水産ねり製品の原料である冷凍スリミは世界的な需要拡大によって品薄傾向にあり、価格が上昇しています。

われわれの最大調達源の米国産スリミの輸入価格は、2015年に高騰し、その後高止まりし、2017年後半から再び上昇に転じ、今年2月には前年上半期に比べて19%増の高騰ぶりです。

2. 米国産スリミの春漁期が終盤となり、現地では対日価格の商談中ですが、昨年比べて一段の値上げ基調となっています。このため、今後の仕入価格が高くなるのは確実な情勢です。

3. 加えて、人件費、塩や澱粉などの副材料費、包装資材費、物流費など軒並み値上がりしています。2015年のスリミ高騰で収益が悪化し、生産コストの二重三重の上昇は会員メーカーの自助努力の限界を超えています。

4. おいしく、調理が便利な「骨なし魚」の水産ねり製品を、その品質と安全を維持して食卓にお届けするために、製品値上げを実施せざるを得ない状況です。われわれメーカーの窮状を何卒ご理解ご賢察賜り、各位におかれましては、広く全国（小売業界や消費者等）にお伝えくださいますようご協力をお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ先】

全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会 専務理事 奥野 勝

Tel (03)3851-1371 e-mail: info@zenkama.com